本庄市の次代を担う中学生による市政への質問や提案

第18回 中学生 まちづくり議会

参加生徒（敬称略）
上段左から【本庄東中】小暮泉美・髙柳未歩・山田爽彩
下段左から【本庄南中】佐藤さら・内野梨子・飯田あかり
【児玉中】山口紗弥・稲垣歩玲・清水葵葉
【本庄第一中】山本樹・佐藤結姫
【本庄西中】中村仁音・齊藤あやめ・井口奈緒

7月22日、次代を担う中学生に市政への関心を深めてもらうため、「中学生まちづくり議会」が開催されました。

市内の中学校5校から代表合計14名が中学生議員となり、市政に対する質問や提案を述べました。

質問① 本庄市の中学校の学校選択制について

本庄南中学校
内野　梨子 議員

質問：県北で最大規模の本庄南中では、通学距離が遠い等の課題がある生徒もいます。生徒数が減少している中学校もありますので、自分に合った環境を選べる学校選択制や、通学区域の再編を提案します。

答弁：現在、市内の中学校では各学年3クラス以上あり、授業や部活動等、学校生活に大きな差はないと考えています。

学校選択制及び通学区域の再編は、通学上のメリットがある一方で、地域との関係が薄れることや、通学時の安全面で心配もありますので、慎重に決めるべき問題と考えています。

質問② 観光施策強化期待に対する世代間ギャップをどう解消するのか

児玉中学校
山口　紗弥 議員

質問：市の観光についての調査では、「市民の75％が市の観光施策強化に期待」との結果がありますが、学生等、若年層の関心は低くなっています。若年層に対し、どのような施策や方針を考えていますか。

答弁：若い世代の皆さんは、インターネットから情報を得ることが多いと思います。市の観光情報については、従来の紙のガイドブックや地図だけでなく、ホームページやインスタグラム等のSNSでも発信しています（主に本庄市観光協会が発信）。

また、今後は市の観光イベントに学生の皆さんに参加、協力いただき一緒に盛り上げてもらえれば、と考えています。

質問③ 災害時におけるトイレ問題について

本庄第一中学校
山本　樹 議員

質問：今年元日に能登半島地震がありました。災害時には避難所のトイレの問題が取りざたされます。本庄市の災害用トイレはどのようなものですか。また、断水が起こった場合の対策は考えていますか。

答弁：市では、汚物を1回ごとに密封する自動ラップ式トイレ等を備蓄しているほか、マンホールトイレの整備も進めています。

市の災害用トイレは、断水時にも処理ができるよう、基本的に液体を固める粉末を使うものとなっています。

引き続き、障害者や高齢者の利用も考えながら、断水や停電時でも使用できる、「災害に強いトイレ」を準備していきます。

質問④ 北辰テストの料金補助について

本庄西中学校
中村　仁音 議員

質問：現在、英語検定を受験する際には受験料の補助（年1回）がありますが、北辰テストにも補助金を出していただけませんか。補助金があることで、より多くの生徒が進路選択を考えると思います。

答弁：本市の検定料補助事業は、資格取得を通じた学力、学習意欲の向上を目的としています。北辰テストは高校入試に向けた進路選択に有効ですが、現在の学力を把握する目的のテストを補助対象とするのは難しいと考えます。

教育委員会としても、皆さんがより一層前向きに学習に取り組めるよう支援策を考え、応援していきます。

質問⑤ 本庄市内の各小中学校における防災教育・安全教育の充実について

本庄東中学校
髙柳　未歩 議員

質問：学校で行う避難訓練以外で防災・安全教育を充実させるため、市としてどのような取組ができますか。授業時間での実施が難しい場合、地域を活用した学習の場を設定することはできますか。

答弁：現在、市内の小中学校では授業の中での防災・安全の学習と、交通安全教室を実施しています。

市内の各地域では、市民参加型の防災訓練を実施していて、避難ルートの確認や避難所の様子を知ることができます。実施する地域や場所は、広報紙やホームページ等でお知らせします。ぜひ参加して、防災を考える機会としていただきたいです。

議員提出議案　今後1年間の各中学校での取組を提案

きれいで住みやすい街を目指して

児玉中学校
清水　葵葉 議員

本庄市には観光地だけでなく、本庄児玉ICや3つの駅があり、多くの人が行き交う街である、と考えています。

ですが、街中を歩いていると、ごみが落ちていたり、人の手がかかっていないような土地もあります。

そこで、全市一斉清掃の拡大化や、環境整備を促進する政策に取り組むなど、私たち中学生にもできる活動を推進していただきたいと思います。

こうした取組を各中学校で行うことで、環境整備への理解を深め、一人ひとりが環境美化に対する意識を高め、より住みやすい街になると思います。

質問・答弁の内容は、要約して掲載しています。★秘書課☎ 25- １１５４